



■ 夏休みも 残り半分

夏休みに入って立て続けに近づいて来た台風と長雨の影響で、夏休み前半は元気に外で遊ぶことができる日が少なかったようですが、児童のみなさんどのように過ごしましたか？

夏休みも約半分（20日間）が過ぎようとしています。今日は登校日。久しぶりにみんなの明るい笑顔を見、元気な声を聞くことができました。

夏休みになる前に校長先生が話していた3つのこと（①安全な生活や健康管理に気をつけること②規則正しい生活をする（早寝・早起き・朝ご飯）③何かひとつ毎日決まったお手伝いをする）は守れていますか？

夏休みも約半分終わりましたが、もう半分終わったというとらえ方と、まだ半分あるというとらえ方の二通りのとらえ方ができます。

あと半分ととらえると、夏休み前半できなかったことは、ここでもう一度生活の立て直しをすることができます。夏休み前半の生活を見直し、充実した夏休み後半を過ごしてください。（夏休みの宿題も、半分は終わっていないといけませんよ。保護者の皆様には点検をお願いします）



■ 心にきざみたい戦後70年の歴史

1945年8月15日に太平洋戦争が終結してから、今年で70年目になります。

戦争を体験された方々は年々高齢となられ、子どもたちが直接戦争体験を聴かせていただく機会が減ってきました。

筑前町には、戦争中、東洋一の規模と言われていた太刀洗飛行場がありました。（平和記念館付近を中心に、筑前町・朝倉市・大刀洗町・小郡市にまたがる広大な飛行場でした）

この太刀洗飛行場は、西日本における航空戦略の拠点であっただけでなく、特攻作戦（爆弾を装着した戦闘機で敵の艦船に体当たりして沈める作戦）の中継基地としての役割を果たしました。多くの兵士たちが大刀洗飛行学校で地上教育や操縦訓練を受けた後、知覧・都城・鹿屋等の飛行場へ配置され、その地から出撃していきました。

夏休み前に、6年生は大刀洗飛行場について、大刀洗平和記念館と太刀洗飛行場跡地のフィールドワークをおこないました。

児童のみなさんには、特攻作戦という命がけの作戦がこのふるさと筑前町で訓練されたという事実から多くを学び、感じ取り、戦争や人権侵害を許さない、命や平和が大切にされる社会をつくることのできる人になってほしいと思います。



5年生が海浜学校へ行ってきました。

5年生の「海浜学校」を7月22日・23日に宗像市神湊で実施しました。

残念なことに、台風12号の影響で、福岡県下に大雨・洪水・雷・強風の注意報が出されていた関係で、両日とも遊泳禁止となり、海で泳ぐことを楽しみにしていた児童たちをがっかりさせました。しかし、海での安全や水の事故防止を考えると、この判断もしかたのないことだったと思います。海には入れなかったけれど、仲間と協力することの大切さや時間を守ることの大切さなど、多くの事を学ぶことができた海浜学校となりました。



● 児童の感動

● 海の散歩でカニやヤドカリをつかまえ、エイは残念ながら死んでいたけど、いろいろな生き物を見れて良かったです。やっぱり、海と川では全然違うことがわかりました。

夏休み 水泳教室・水泳クラブ

水への恐怖心がある子や水泳の苦手な児童を対象に水泳教室をおこないました。先生方が児童の泳力レベルに合わせた指導をおこなってくれました。今まで顔を水につけることができなかった子が、顔を付けられるようになったり、5M・10Mと泳げる距離が伸びたりしました。また水泳クラブでは、個々人の泳力アップをめざして連日みっちり泳ぎこみをおこないました。夜須中学校の水泳部員が指導に来てくれました。



朝倉郡学童水泳記録会 成績 【1位の記録のみ掲載】

4年女子	25M 自由型	田中璃旺	19" 77	5年女子	25M 自由型	矢野 花	18" 47
5年男子	25M 自由型	杉森隼人	18" 46	6年男子	25M 自由型	行 風機	17" 55
6年男子	25M 背 泳	吹出純生	16" 73	6年男子	50M 自由型	柳 晴起	37" 10
6年男子	50M 平 泳	吹出純生	43" 46				

(7月30日：於 三輪小学校)